



ナマズの知恵袋

平成22年(2010年)7月1日
編集・発行 滋賀県立図書館

もしもあなたが 裁判員に選ばれたら・・・

平成21年5月21日に裁判員制度がスタートして1年が過ぎました。ニュースや新聞などの報道に接する機会も多くなり、だんだんと「裁判員裁判」が私たちにも身近な話題となってきました。裁判員に選ばれたその日から裁判参加の日まで、それぞれの場面に応じて参考にしたい資料、心の準備に役立つ資料を紹介します。



自宅に封筒が届いた！
まさか 私が・・・？

裁判員になったら何をしたらいいの？裁判員制度のことをあまりよく知らない・・・

『裁判員制度ナビゲーション』改訂版

最高裁判所編刊 2009年[G-3276-サ]

『よくわかる裁判員 Q & A』裁判員制度研究会編

法学書院 2008年[G-3276-サ]

裁判員に選ばれたときに生じるあらゆる不安や疑問を想定して、やさしく解説されています。

『裁判員の教科書』橋爪大三郎著 ミネルヴァ書房

2009年[G-3276-ハ]

『解説裁判員法』第2版 池田修著 弘文堂

2009年[G-3276-イ]

『これ一冊で裁判員制度がわかる』読売新聞社会

部裁判員制度取材班著 中央公論新社 2008年

[G-3276-エ]

社員が裁判員に選ばれたら・・・

『社員が裁判員に選ばれたらどうするか？』

安西愈ほか編 労働調査会 2009年[G-3276-ア]

社員が裁判員に選ばれたときに生じる様々な問題(労務管理、使用者の配慮、賃金など)についてその対応方法をわかりやすく解説した一冊です。

わかりやすい！子ども向けの本

あなたは説明できますか？大人も読んで納得の児童書。

『イラストで学べる裁判員制度』全3巻

裁判員制度研究会著 汐文社 2007年 2008年[J-32]

『裁判なるほど解説』山根祥利監修・著 フレーベル館
2009年 [JB-32]

Point!

自分にあった一冊を見つけるには、本に掲載されている「参考文献」から探すのもひとつの方法です。あわせてどうぞ。あわせてどうぞ。

裁判員の
不安解消
のために

『裁判員のための記憶と証言の心理』榎本博明著 おうふう 2009年 [G-3270-工]

心理学者の立場で、一般市民としての日常感覚に基づいて書かれた本です。冤罪事件の起こる背景について、記憶、目撃証言、ウソの自白など、裁判の場で行われていることの実態やそれに関わる心理メカニズムを豊富な具体例から知ることができます。

滋賀県関係新聞記事見出し検索を活用する！

http://www.shiga-pref-library.jp/d_newspaper/cm_np_input.cfm

裁判員裁判を経験した一般の方々の声も新聞を通じて届くようになってきました。見出しに「裁判員」と入力して検索すると、滋賀県内で実施された裁判員裁判や裁判員の様子などについての記事がどの新聞に掲載されているかがわかります。事例はこれからの参考材料になります。



裁判員裁判ってどんなもの？

『実践！Q&A 裁判員裁判』裁判員裁判実務研究会編著
ぎょうせい 2009年 [G-3276-ク]

裁判員裁判の流れを、事件をもとに流れに沿って解説。

法廷の様子などかんたんなイラストで紹介。



法律を知っておきたい

「刑法第 条により・・・」って法廷ドラマなんかで聞くけれど、どんなことが書いてある？

『口語刑法』補訂版 植松正監修 自由国民社 2006年 [G-3260-ケ]

刑法の条文を日常の言葉に置き換え、具体的な例をあげながら法の考え方を解説しています。

『六法全書』平成22年版 江頭憲治郎[ほか]編 有斐閣 2010年 [R-3209-ク]

『岩波コンパクト六法』平成20年版 奥田昌道[ほか]編集 岩波書店 2007年 [R-3209-イ]

法律用語ってムズカシイ

裁判って難しい言葉がたくさん使われていて、わかるかな？不安だなあ。

『裁判員のためのよく分かる法律用語解説』前田雅英監修 立花書房 2006年 [G-3203-マ]

法律を学んだことのない人のために、法廷で使われる代表的な用語を分かり易く説明。

『有斐閣法律用語辞典』第3版 法令用語研究会編 有斐閣 2006年 [R-3203-ナ]

『法律用語がわかる辞典』第4版 尾崎哲夫著 自由国民社 2007年 [R-3203-オ]



小説で学ぶ

- もし、私がこの事件の裁判員だったら・・・裁判員裁判をテーマにした小説。

『犯意』乃南アサ著 新潮社
2008年 [G-9136-ノ]

『てのひらのメモ』夏樹静子著
文藝春秋 2009年 [G-9136-ナ]

映像で学ぶ

『裁判員』『審理』『ぼくらの裁判員物語』[GV-3276-, GC-3276-]
最高裁判所が裁判員制度の広報用に作成した資料。
ビデオとDVDがあります。一般資料室カウンターまで。

刑を判断するにはどうすればいいのだろう？

刑を判断するためには、何を基準にすればいいの？どう考えればいいの？参考になる本はありますか。

『裁判員のための刑事法ガイド』村井敏邦著 法律文化社 2008年 [G-3260-ム]

刑事手続きの方法や裁判員として知っておくとよい刑法理論について解説されています。

『裁判員のための刑事法入門』前田雅英著 東京大学出版会 2009年 [G-3260-マ]

刑の重さとは？裁判における証拠とは？など罪と罰をどう考えるかに重点をおいて解説されています。

『刑法がわかった』改訂第5版 船山泰範著 法学書院 2010年 [G-3260-フ]

『被告人の事情/弁護人の主張』村井敏邦、後藤貞人編 法律文化社 2009年 [G-3276-ム]

『Q & A 少年事件と裁判員裁判』加藤幸雄、藤原正範編著 明石書店 2009年 [G-3278-カ]

資料編 犯罪ってどれだけおきているの？

『裁判所データブック』2009 最高裁判所編著
最高裁判所 2009年 [RB-3271-サ]

『犯罪白書』平成20年版 法務省法務総合研究所編
太平印刷社 2008年 [RB-3686-ハ]

『裁判員制度に関する世論調査』平成21年6月調査
内閣府大臣官房政府広報室[編] 内閣府 2009年 [RB-3276-ナ]



雑誌から

制度がスタートして1年。
社会はどう評価しているのだろうか？
「世界」2010年7月号
特集:裁判員制度1年 岩波書店[P-]
専門家、作家、裁判員経験者など様々な立場から語られています。
雑誌記事を探すなら国立国会図書館雑誌記事索引で！
<http://opac.ndl.go.jp/>

もっと詳しく知りたい方へ

最高裁判所ホームページ <http://www.saibanin.courts.go.jp/> 裁判員制度に関する様々な情報が紹介されています。裁判員を経験した人へのインタビューなど動画配信もおこなわれています。